

パンパグランド市リサイクルプロジェクト活動報告

みなさん、こんにちは。

南米ボリビアのパンパグランド市で環境教育隊員として活動している城井香里です。

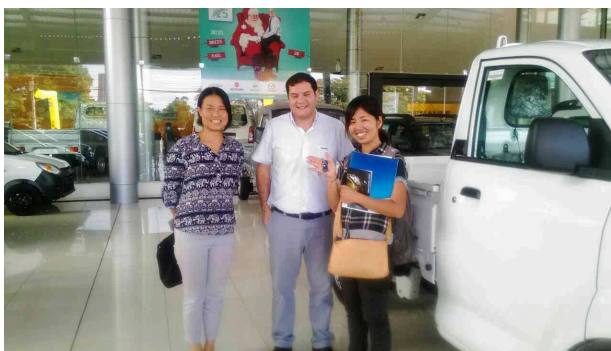
☆クラウドファンディング目標達成のお礼

9月のDIFAR通信でクラウドファンディングについてのご案内とご協力のお願いをさせていただいていたのですが、おかげさまで無事に目標額150万円(支援総額165万7千円)を達成することができましたことをここにご報告いたします。

資金をご支援いただいたみなさま、Facebookのソーシャルネットワークでシェアをして応援いただいたみなさまにこの場を借りて厚くお礼申し上げます。パンパグランド市長をはじめ、同僚の職員もこのことを大変喜んでおります。

支援いただいた金額は11月10日にクラウドファンディング運営会社から手数料18.36%を差し引かれた分が私の口座へ振り込まれ、DIFARの日本事務局の協力を得てボリビアへ送金され、11月18日にサンタクルスの自動車販売店でスズキのトラックを購入予約しました。

支援金で購入できるのは中国製のトラックだったのですが、市役所が不足分を負担する形で日本車のトラック購入が実現しました。



12月半ばに無事納車されました

☆今年のパンパグランドの活動報告について

1. 農薬容器の回収

9月に農薬容器回収キャンペーンを実施しました。あらかじめ市内に設置した16か所の農薬容器回収コンテナに保管された農薬容器を回収する方法と回収当日に拡声器でアナウンスし、沿道に出された農薬容器の入った袋を回収するという方法で実施しました。

6日間で市内を巡回し、720kgの農薬容器を回収することができたのですが、この量は潜在見込み数の4%でしかありません。

農薬容器の回収への協力を生産者の方々に浸透させるためには、まだ彼らの自発性、啓発が不足していることを回収量の数値で痛感しています。

生産者への講習会を今後も実施し、回収キャンペーンは3か月おきに継続して実施していきます。

2. 学校と市場における資源ごみ回収

今年4月から市場における生ごみ回収、8月から学校における資源ごみ回収(生ごみ、ペットボトル、紙等)を開始しました。

市場における回収は4月と5月に2回講習会を実施した後、私の学校教育の活動の方が多忙でフォローがままならず、レジ袋等が混在し、雇った一名の作業員では堆肥作りが困難を極めたため、最終処分場に廃棄していました。

11月29日、改めて市場の方々へ講習会を行いました。再度たい肥作りに挑戦し、缶とペットボトルの回収も12月から開始します。

学校における資源ごみ回収は、環境教育プログラムと合わせて市内8校で実施しました。4つのテーマについて各月で教員へ講習会を実施し、なぜ分別するのか、環境保護の大切さ、環境汚染についてプログラムを作成し、同じプログラムを各学校で生徒に実施してもらう形を取りました。



私の任期は2017年3月までですが、その後も学校における資源ごみ回収を継続していきます。

みなさんからのご支援で購入できた資源ごみ回収トラックが南米ボリビアのパンパグランド市で走り続けることでしょう。本当にありがとうございました。

2016年11/30 パンパグランド市にて 城井香里

